



第6回地域協議会は、1月12日(金)午後2時から二ツ井伝承ホール洋室研修室で開かれました。案件は「第2次能代市行財政改革大綱(素案)」について。概要については、次のとおりです。

## 第2次能代市行財政改革大綱(素案)について

第2次能代市行財政改革大綱(素案)について、これまでの取組や改革の必要性などについて担当課から説明がありました。実施項目については以下のとおりです。

- 1 産業振興等による税収等の確保
- 2 公の施設の使用料の見直し
- 3 未利用財産の処分・活用
- 4 内部管理経費の見直し
- 5 市単独補助金の見直し
- 6 市単独事業の終期等設定の徹底
- 7 公共施設等総合管理計画における個別施設計画の策定及び推進
- 8 公共施設のバリアフリー化の推進
- 9 市立保育所の民間移管等
- 10 能代東デイサービスセンターの廃止
- 11 檜山診療所の廃止
- 12 保健センターのあり方の検討
- 13 小規模小学校の統合
- 14 常盤中学校の統合
- 15 ニツ井公民館分館の統廃合の検討
- 16 定員適正化計画の推進
- 17 人材育成基本方針の見直し
- 18 人事評価制度の充実
- 19 ワークライフ・バランスの推進
- 20 女性活躍の推進
- 21 民間活力活用の推進

22 各種委員会等への市民参加の推進  
 23 指定管理者制度運用の見直し  
 24 自主防災組織設立と防災士養成の推進

25 政策評価の実施

26 地域コミュニティ活動の推進

27 業務改革(BPR手法)の導入

28 各種団体の事務局移管

29 総務関係事務(給与、旅費、福利厚生等)の委託

30 統一的な基準による地方公会計の活用(貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書の作成)

31 申告相談受付会場の見直し

32 納税貯蓄組合の見直し

33 介護認定調査業務の委託

34 窓口業務の見直し

35 道路台帳の統合

36 投票所の再編

37 組織・機構の見直し

38 会計年度任用職員制度への対応

39 適正な債権管理体制づくり

40 各種委員会等の見直しと委員数の削減

### 質疑と回答の主な内容

(質疑) 各種団体の事務局移管について。市で事務局を担当しているのは何団体あるのか。

(回答) 現在78の団体事務局を市で行なっております。

(質疑) 市職員数について。行財政改革で職員数が減るのはいい

(回答) が、仕事そのものは減らないと思う。それに伴い任期付職員は増えているのか。

(回答) 任期付職員数については、3年〜5年期間の仕事で募集している職員であり、今後

(質疑) も増える見込みであります。職員数については定員適正化計画の中で管理していく事になっていきます。

(質疑) 財政調整基金の残高について。減少・増加の要因は何か。

(回答) 28〜29年度の減額については、合併10年を迎え、地方交付税の特例措置が終了し、交付税が減った事、29〜30年度

(質疑) については、主に道の駅ふたつの移転補償費により増加する見込みであります。

(回答) それ以降については、交付税の減額が見込まれる結果、減少する見込みとなっております。

### 新しい「道の駅ふたつ」の工事進捗状況をお知らせします



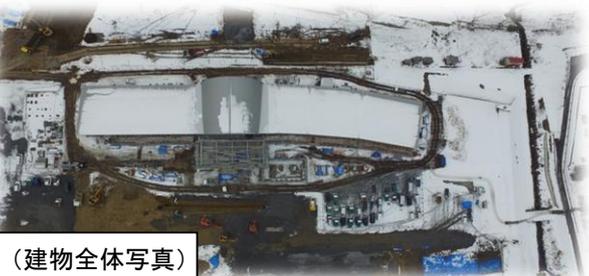
道の駅本体の建築工事は、平成30年3月末の完成を目指して行われており、1月末現在の工事進捗状況としては、目標の79.4%に対し、81.1%と順調な進捗率となっており、現在は、主に内装の天井・壁の仕上げが行なわれております。

建築工事以外の市の事業では、1月中旬から外構工事が行なわれ、「あきた未来づくり交付金事業」についても、30年度工事を予定している「きみまち阪への歩道橋やアクセス道」、「川の駅エリア等での周辺施設整備やカヌー艇庫建設」のための実施設計業務を行っております。

また、道の駅と一体となって国土交通省により工事が進められている「河川防災ステーション」は30年度まで、親水空間(川の駅エリア)での「かわまちづくり支援制度」事業は31年度までの完成を目指して順調に進められております。



平成30年1月16日撮影



(建物全体写真)

(現道の駅方向より撮影)